

VII 事業全体計画の概要

1 年次別計画

項目		年度	56	57	58	計
事業費			千円 88,000	千円 152,000	千円 260,000	千円 500,000
事業内容	屋嘉田 増殖場	潜提 A 石止提 着底及び育成場	m 300	m 700	m ² 55,000	m 300 m 700 m ² 55,000
	今帰仁 養殖場	潜提 B 潜提 C 石止提 着底及び育成場		m 112	m 138 m 200 m 480 m ² 55,000	m 250 m 200 m ² 480 m ² 55,000

2 期待する効果とその算定根拠

本地区の昭和53年のシラヒゲウニの生産は、205 t、31,000千円であるが、過去10年間で最も生産の高い昭和50年の402 tを生産計画の目標としていきたい。

今回の調査により、比較的生産量の多い天然漁場のシラヒゲウニ分布密度は5個/m²という結果がでている。従って、今回の事業ではこの数値を用いて5個体/m²×150g/個体×120,000²(造成面積) = 90 tの増産を見込んでいる。将来は、さらに種苗放流等の資源添加により、目標に向けて、生産増大を図っていきたい。生産額については、すし種用として出荷している一部地域の現状からみて、単価600円/kg×90 t = 54,000千円を見込んでいる。

餌料量については、増産に必要な餌量現存量をシラヒゲウニの必要とする摂取量の4倍とすれば、造成漁場でこれを確保することは可能であると推定される。